

仙台市海外展開チャレンジ支援メールマガジン

～仙台・東北から海外・タイ王国へ！～

発行：仙台市経済局産業振興課国際経済室

ウェブサイト

<http://www.city.sendai.jp/jigyosuishin/jigyosha/kezai/jigyosho/shien/kaigai/index.html>

目次

1. タイビジネス情報
2. タイトレンド通信 Vol.11
3. 仙台市から海外展開支援のお知らせ
4. 他団体のセミナー・イベント等情報

事業者の皆さま

仙台市産業振興課国際経済室で海外展開の担当をしている赤井澤です。

私事ですが、4月1日付けで異動することとなりました。

皆様には1年間ご購読いただき、また、励ましのお言葉を頂いたことを大変感謝しております。

次回からは、吉澤という者が皆様に情報をお届け致しますので、引き続きよろしく願いいたします。

4月からは、タイとビジネスを行う上でのノウハウを1年間に渡ってお伝えしていく予定です。

今回はタイビジネス情報やトレンド情報についてお伝えいたします。

◇ タイへのビジネス展開のヒント

仙台ータイ経済交流サポートデスクの益雪です。

メルマガ14号に続き、タイへの日本食品輸出について話したいと思います。

タイで日本食品（加工品）を販売するためには、多くの日本企業がタイにある日本食品の卸売業者へ委託してタイ国内で販売してもらう方法をとっています。

第一のステップとして卸売業者への営業が必要になります。

卸売業者では自社で取り扱いたい商品かどうか、商品の品質や価格だけでなく現在のタイのトレンドを踏まえて選定を行います。

食品の賞味期限も重要なポイントで、日本からタイまでのコンテナ輸送も考慮すれば加工品であれば最低6ヶ月の期限が望めます。

また、製品によっては輸入規制品やタイFDA（食品医薬品局）で認可基準に満たないものは取り扱いができません。

卸売業者での取り扱いが決まって、その業者が輸入者として必要な許認可を取得できたら晴れて商品がタイに輸入されます。

最初に営業対象になるのが日系スーパーです。

卸売業者がサンプル品を持って営業を行います。

日系スーパーには日本人バイヤーがおり、厳しい目で商品を選定されます。

そして、採用され、商品として棚に陳列されてからが本番です。

知名度や馴染みの無い商品は陳列されているだけでは売れません。

そのため、日系メーカーでは店頭試食販売などの販売促進を定期的に行っています。

自社の社員がタイに出張して行う企業もありますが、多くは卸売業者にマネキンを頼んで実施しています。

タイ国内に輸入される日本食品の種類が増えてきているので、日本国内で販売するのと同じくらいの販売努力か、それ以上の努力を積極的に行うことが重要になっています。

しかし、タイでの日本食品のマーケットは年々拡大しているのも事実です。

日系スーパーでの販売が安定してタイ人消費者にも商品が受け入れられると、ローカルスーパーでも取り扱ってもらえるチャンスも生まれます。

仙台市の輸出入チャレンジ支援助成金やその他支援機関が実施するタイの食品バイヤーとの商談会などを利用して、まずはタイ市場への足がかりを掴んでみてはいかがでしょうか。

◆ タイトレンド通信 Vol.11 :

仙台ータイ経済交流サポートデスクを受託している、東洋ビジネスサービスのタイ人スタッフのドリーです。

前回の本項でタイのお金持ち達の憧れはホンダジェットであるというお話をしましたが、一般的なタイ人には全く想像のできない世界です。

私達のような普通のタイの人達の憧れは何でしょうか？

いい車を買っても、なかなか友達や同僚に自慢する機会がありません。

そのため、タイではいつも手元にあり人に目に付きやすい最新のスマートフォンを持つことにこだわる人が多いようです。

タイでは iPhone や Galaxy などが人気です。

皆さんも御存知の通り、タイでは多くの人たちがインスタ映えするスポットで自撮りをして、インスタや Facebook にアップしてたくさんの「いいね」をもらうことに夢中になっています。

最近の新機種では、カメラの性能が大幅にアップしているのが人気の要因のようです。ホンダジェットほどではないにしても、上位モデルの携帯電話はタイ人にとっては高い買い物です。

今回の GalaxyS22 は、一番安いモデルでも 29,900 バーツ (約 10 万 5 千円) もします。多くの人達にとっては月給よりも高い金額なので、手持ちの携帯を下取りに出したり分割払いやキャリア割引 (年間パッケージ契約で割引) などを利用して手に入れています。多少、無理をしても、「最新のモデルを買って人に自慢したい!」「今よりもキレイな写真をとってインスタにアップしたい!」というタイの人は多いようです。

ビジネスのヒントにしていただけたら幸いです。

◆ 仙台市では、海外販路開拓にチャレンジする皆さまを応援します!

●仙台-タイ経済交流サポートデスク

コロナの影響でタイに渡航することが難しくタイについての情報収集ができずにお困りではありませんか？

仙台-タイ経済交流サポートデスクでは、タイ進出をご検討している皆様だけでなく、まだ進出までは考えられないが話だけ聞いてみたい、タイについて聞きたいことがあるなどタイに関する皆さまのご要望にお応えします。

タイについて知りたいことがあれば是非お気軽にご利用ください。

“仙台市の海外展開”の取組みをご活用いただき、多くの企業様がタイ進出にチャレンジしていただくことをお待ちしております。

詳しくは、以下をご覧ください

[https://www.city.sendai.jp/jigyosuishin/jigyosha/kezai/jigyosho/shien/kaigai/supp
ort.html](https://www.city.sendai.jp/jigyosuishin/jigyosha/kezai/jigyosho/shien/kaigai/supp
ort.html)

●仙台市輸出入チャレンジ支援助成金

仙台市では令和4年度も「仙台市輸出入チャレンジ支援助成金」を実施します。
今回も海外展示会出展やサンプルの輸出入、Eコマースサイト出展など海外展開に幅広くご利用いただける内容になっています。

また、オンラインの商談会で使いやすいようPR動画作成費、オンラインでの通訳費の助成などにもお使いいただけますのでご利用ください。

利用可能になり次第、皆様にお知らせいたします。

詳しくは以下のリンクをご覧ください。

[https://www.city.sendai.jp/jigyosuishin/jigyosha/kezai/jigyosho/shien/challenge.h
tml](https://www.city.sendai.jp/jigyosuishin/jigyosha/kezai/jigyosho/shien/challenge.h
tml)

◆ジェットロ主催セミナー/商談会/イベント情報

■デザイン・ファッション・雑貨・日用品

▼中国市場向けに日用品の販路開拓をお考えの方向け

【WEB展示会】2022年度 ジェットロ 中国ハイブリッド型キャラバン

(オンライン・オフライン併催)

2022年4月～2023年3月

<https://www.jetro.go.jp/events/far/5f9c04aaca262385.html>

※このメールはこれまで仙台市産業振興課担当者から名刺交換させていただいた方や、仙台市のイベント等にご参加いただいた方にお送りしています。

配信停止を希望される方はお手数ですが、このメールのタイトルに（配信停止希望）

と付記して返信いただければと思います。

バックナンバーはこちら

<http://www.city.sendai.jp/jigyosuishin/jigyosha/kezai/jigyosho/shien/mailmag.htm>

!

【発行】 仙台市経済局産業振興課国際経済室

tel : 022-214-1005 fax : 022-214-8321

email : kaigai-challenge@city.sendai.jp
